

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ福岡]

2020 07

特別版

『Biz Life Style』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.092-687-7111 FAX.092-687-7117

企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション九州
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-6-7 天神クリスタルビル7F
©2020 DAILY INFORMATION KYUSHU CO.,LTD



BEYOND TO STYLE LEXUS REAL JOURNEY

時代を先取りして新たな驚きを創造するには、従来の価値観を超えなければならない。
上質な空間を演出する『LEXUS』での移動時間と、極上の宿で五感を刺激するひと時。
この二つの時間は決して別のものでなく、一つの壮大な物語を紡いでいく。
アグレッシブでエレガンスな心躍る体験は、シートに着いた瞬間から始まっている。
ここでは『LEXUS』の感性に共鳴するラグジュアリーな3軒の宿をセレクト。
新しい世界観を構築する旅は、最高のストーリーとなるだろう。



レクサス福岡中央

【住所】福岡市中央区渡辺通3-4-13
【電話】092-751-2209
【営業】11:00~19:00
(土・日曜、祝日10:00~19:00)
【定休日】月曜(祝祭日の場合は営業、翌火曜は定休)

レクサス福岡東

【住所】福岡市博多区豊2-3-40
【電話】092-415-3539
【営業】10:00~18:00
【定休日】月曜
(祝祭日の場合は営業、翌火曜は定休)

レクサス福岡西

【住所】福岡市西区福重1-2-22
【電話】092-883-7721
【営業】10:00~18:00
【定休日】月曜(一部祝日を除く)

レクサス小倉

【住所】北九州市小倉北区室町1-2-1
【電話】093-591-3300
【営業】9:30~19:00
【定休日】月曜

レクサス八幡

【住所】北九州市八幡西区藤西1-2-12
【電話】093-644-2209
【営業】10:00~19:00
【定休日】月曜(祝祭日の場合は営業)

レクサス久留米

【住所】久留米市東合川2-4-1
【電話】0942-43-7744
【営業】10:00~18:00
【定休日】月曜
(祝祭日の場合は営業、翌火曜は定休)

My Favorite Life Style



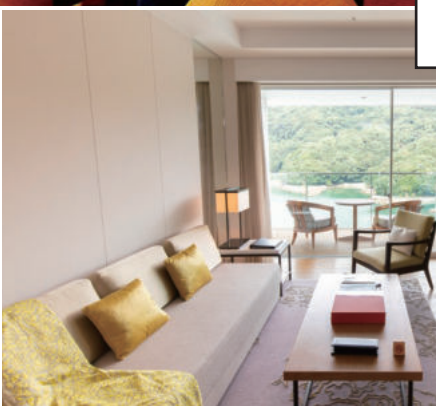
1

LEXUS BEYONDE TO STYLE

忘れられない愉快適悦の体験

NAGASAKI / SAIKAI

Olive Bay Hotel



和紙と光で演出するバー「山吹」は、和紙デザイナーの堀木エリ子氏によるデザインで、「波間から昇る太陽」と「波間に浮かぶ月」を表現している。入り江を一望するレストラン「オリブ」は、高い天井まで全面ガラスの明るく開放的な空間を演出。長崎の山海の幸を用いてシェフが腕によりをかけ、自然の恵みを味わわせてくれる。スタイリッシュな客室でくつろぐだけでなく、夏季は水底にバラが描かれた宿泊者専用プールで泳ぐこともできる。

森の緑と瀟洒な海に包まれる非日常のリゾートステイ

長崎の西、紺碧の海に浮かぶ緑豊かな大島。島とはいっても、西彼杵半島から大島大橋を渡って気軽に行くことができる。長さ1095m、高さ126mの斜張橋である大島大橋は、眺めも美しくドライブにも最適だ。穏やかな潮風がそよぐ大島の入り江に佇む『オリブベイホテル』は、クルーザーボートやプールを備えたリゾートホテル。設計は新国立競技場も手掛けた世界的に著名な建築家の隈研吾氏で、内装はこれまで多くの五つ星ホテルを手掛けた『Design International』社によるもの。館内では陶板のレリーフや和紙の照明、絵画や彫刻など、さまざまなアート作品に触れることができ、まるで美術館を訪れたかのように五感を刺激する。

すべての客室がベイビューで、テラスからは神秘的な小湾の眺めを見渡せる。絶景を望むビューバス完備のラグジュアリールームは、リビングと寝室を稼働扉で仕切ることができ、それぞれの空間でゆっくりと過ごせる。そのほか、「記念日プラン」で利用可能な約110㎡もの広さのプレミアム・スイートルーム、絵画みtainな対岸の森の景色を楽しめるスーペリアルーム、趣のある和室が揃う。全32室に抑えたスモール&ラグジュアリーだからこそ、行き届いたおもてなしを感じられる。島ならではのアクティビティとして、大島の周辺を巡る「大島周遊クルージング」や、島の密度日本一の九十九島を巡る「九十九島遊覧クルージング」も用意。夏季にはクルーザーボートでプライベートビーチを訪れて泳いだりバーベキューしたりもできる。喧騒を離れた贅沢なひと時は、この上ないリフレッシュとなるに違いない。

INFO

オリブベイホテル

[住所]長崎県西海市大島町1577-8
[電話]0959-34-5511 [IN / OUT]15:00 / 11:00
[HP]<https://www.olivebayhotel.co.jp/>



ラグジュアリールームステイプラン
(1室2名/1泊2食付き1名) 35,100円～(税サ込)



ご予約時に「Biz Life Styleを見た」とお伝えいただくと
「東洋オリブ」商品の詰め合わせをプレゼント

[有効期間]2020年12月31日まで

My Favorite Life Style

2

LEXUS BEYONDE TO STYLE

磨かれてゆく温故知新の精神

NAGASAKI / UNZEN

Mt. Resort 雲仙九州ホテル



あちこちに煙が立ち上る雲仙の観光名所「雲仙地獄」に囲まれた好立地。宿泊棟からは、客室にいなから雲仙を代表する風情豊かな景色を一望できる。宿泊棟の2Fにあるカフェ「The Mellow Ridge」では、ウッドデッキのテラス席で山並みの稜線と中庭の風景、水辺の木々に癒されるだろう。さらに屋上階には、雲仙の自然を空中から愛でる宿泊者専用のテラスラウンジ「The Roof Top Lounge」も用意。晴れた夜は、満天に輝く星も楽しみ。

INFO

Mt. Resort 雲仙九州ホテル

【住所】長崎県雲仙市小浜町雲仙320
【電話】0957-73-3234 (電話予約受付9:00~17:30)
【IN / OUT】15:00 / 11:00
【HP】https://www.kyushuhtl.co.jp/



テラスプレミアツインorダブル
(1室2名/1泊2食付き1名) 30,800円~(税サ込)



公式HP又はお電話でご予約時に「Biz Life Styleを見た」とお伝えいただくと
夕食乾杯時 グラスパークリングワイン1杯サービス

【有効期間】2020年10月31日まで

100年を超える歴史が宿る新たに生まれ変わったホテル

春は「雲仙ツツジ」と呼ばれるミヤマキリシマが咲き誇り、萌える青葉が初夏の訪れを告げる。秋には紅葉で色鮮やかに染まり、冬は霧水と雪景色に包まれる。四季折々の変化が魅了する雲仙は、1934(昭和9)年にわが国で最初の国立公園に指定された景勝地である。

1917(大正6)年創業の「雲仙九州ホテル」は、伝統的な趣を大切にしながら一昨年に大規模リニューアルを行い、ラグジュアリーホテルとして生まれ変わった。9158㎡の広大な敷地にエントランス棟、レストラン棟、宿泊棟、離れの4つの建物が立ち、敷地の中央に位置する中庭は木々が水盤を取り囲んで季節ごとの表情を見せてくれる。

エントランスは創業時の雰囲気をもチーフにした外観に、石や木目を基調とした和洋折衷の内装。宿泊棟の客室は21室あり、眺

望を重視する方におすすめ。すべて地獄谷向きの造りで、客室内に温泉半露天風呂のバスルームとテラスが付いた和洋室となっている。一方、テラスを含め90㎡を超える離れは4室のみで、半露天風呂と露天風呂付きでゆったりとした別荘感覚の造り。夕食は離れから程近いプライベート個室で提供され、非日常的な特別感を得ることができる。

温泉付客室のホテルではあるが、決してお籠りの宿ではない。館内各所から眺める圧巻の景色はもちろん、アルコールを含むドリンクの無料サービスがあるカフェバーのほか、九州の工芸品を紹介するディスプレイなどホテルステイも楽しめる。都会の洗練よりも地方の親しみに重きを置いたさり気ないサービスは、笑顔と会話が自然と生まれる心地よさ。山あいの知人の別荘を訪れる感覚で過ごしてほしい。

My Favorite Life Style



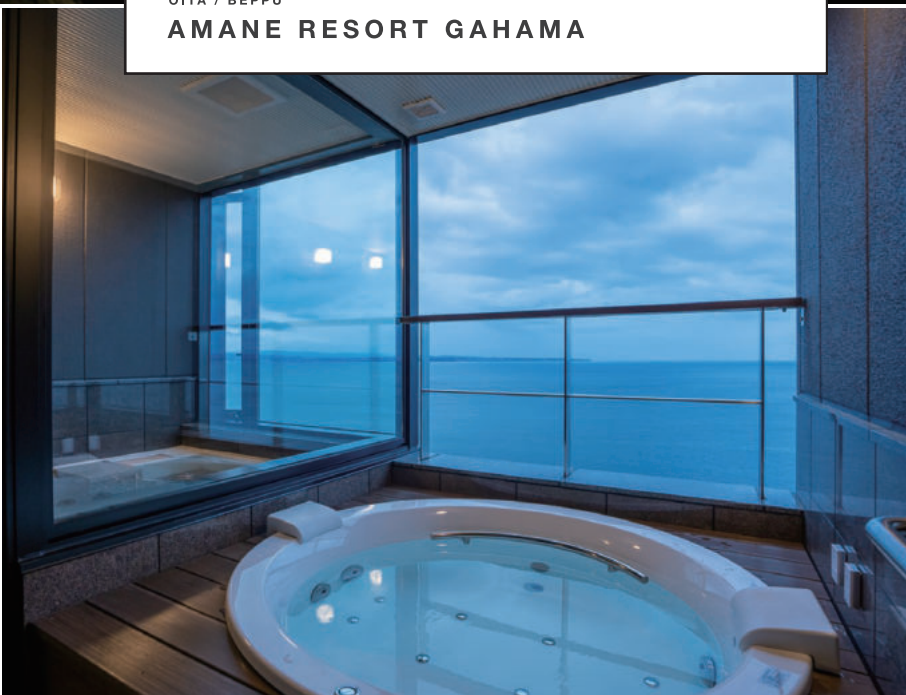
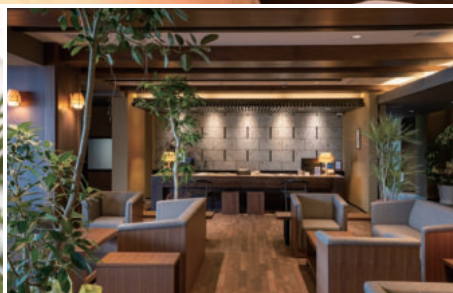
LEXUS BEYONDE TO STYLE

受け継がれる品性高潔な和モダン

OITA / BEPPU

AMANE RESORT GAHAMA

3



1276年頃、全国巡礼中の一過上人が九州に立ち寄る際、最初に上陸した場所と伝えられる上人ヶ浜公園に隣接。3500坪もの広大な敷地には、国武氏の別荘だった和風建築と九州電力によって増築された洋風建築が融合し、モダンな雰囲気を出し出す。客室も多彩でプライベートプールを備えた「パークサイドヴィラ」は98㎡と広く、「GAHAMA Tower」の客室は全室オーシャンビュー。地元の食材をふんだんに使用した食事を楽しむ。

全室にかけ流し温泉が付く邸宅のような宿がリブランド

眼前に別府湾が広がる上人ヶ浜(しょうにんがはま)。この地には久留米紘で財を成した国武金太郎氏が1927(昭和2)年に建てた別荘があり、戦後は九州電力が増築して保養所として活用されてきた。そして、2016(平成28)年には地元の人々が親しみを込めて「がはま」と呼ぶ愛称にちなんだ高級温泉宿「GAHAMA Terrace」が開業。昨年11月には10階建ての「GAHAMA Tower」が完成し、「AMANE RESORT GAHAMA」のニューニールオープンを果たした。

特別室となっている。既存の客室もメゾネットタイプやプライベートプール付き客室などバラエティ豊かな。夕食は季節の食材を個室でゆつたりと堪能。いけす割烹「松秀」では、自然に恵まれた大分県産の食材を生かした料理人の感性が光る。いけすから揚げたばかりの魚介や採れたての野菜など、食材はどれも新鮮なものばかり。柔らかな光と水のせせらぎと新緑に癒されながら、演出にもこだわった繊細な日本料理が味わえる。そのほか、隣地のグループホテル「AMANE RESORT SEIKAI」にあるカジュアルなピストロなども利用可能。

食後は海と松林に囲まれた敷地をのんびり散策してみるのもおすすめ。別府の華やかな別荘文化を象徴する「GAHAMA」の大人の和モダンリゾートを体感してはいかがだろうか。

INFO

アマネリゾート ガハマ

[住所]大分県別府市上人ヶ浜5-32
[電話]0977-66-8833 [IN / OUT]15:00 / 11:00
[HP]https://gahamaterrace.com/



セントラルヴィラ(1室2名/1泊2食付き1名)
28,600円~(税サ込)



ご予約時に「Biz Life Styleを見た」とお伝えいただくと
1泊2食付き料金を20%OFF

[有効期間]2020年10月31日まで